

# 令和2年度取組結果及び令和3年度取組計画

・秋田市	1
・横手市	6
・湯沢市	10
・大仙市	14
・仙北市	19
・美郷町	21
・羽後町	23
・東成瀬村	25
・秋田県総務部	27
・秋田県建設部	29
・東北農政局	36
・東北運輸局	38
・秋田地方気象台	39
・東日本旅客鉄道(株)	42
・東北電力(株)	44
・東北地方整備局	46

## ■ハード対策

（避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備）

### ○簡易水位計等の基盤整備

- ⇒ 防災機能の強化を図るため、災害対策用排水ポンプ車 2 台購入
- ⇒ 普通河川古川流域において、排水機場整備に関する設計業務委託等の実施

### ○庁舎や排水機場等の耐水性の確認・対策（耐水化・BCP等ソフト対策を含む）

- ⇒ 秋田市業務継続計画（BCP）の運用



災害対策用排水ポンプ車（60m<sup>3</sup>/min）

## ■ソフト対策【動かす】

①逃げ遅れゼロに向けた  
迅速な情報発信と避難の誘導

### ○平時からのリスク情報の周知と防災教育・訓練等に関する取組

- ・タイムラインを活用したロールプレイング等のリアリティのある防災訓練の実施
  - ⇒ TV会議による雄物川洪水対応演習（R2.5.15）
- ・タイムラインの検証及び改訂
  - ⇒ 雄物川下流のタイムラインを修正（R2.12）
- ・水害リスクを共有するための教育機関等と連携した防災教育の実施
  - ⇒ 雄物川流域の豊岩小（R2.9.11）、大住小（R3.1.21）において洪水想定避難訓練を実施
- ・要配慮者利用施設における避難計画の作成及び訓練の促進
  - ⇒ 要配慮利用施設への避難確保計画の作成支援



雄物川洪水対応演習

## ■ソフト対策【動かす】 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速な情報発信と避難の誘導

### ○発災時の迅速かつ確実な避難に関する取組

- ・住民の避難行動に着目した各市町のタイムラインの運用及びマイタイムラインの作成  
⇒ マイタイムラインの自主防災組織等への周知・啓発（防災講話・避難訓練24回実施、1,039人参加）
- ・住民の主体的避難を促す情報伝達手段の拡充（防災メール、防災ラジオ、SNS等）  
⇒ 防災FMラジオを自主防災組織等へ貸与  
⇒ 秋田市の防災情報をFM秋田「秋田市防災Navi」により放送  
⇒ 防災ネットあきたによる災害情報の提供（電話、FAXでも提供）  
⇒ ホームページ、ツイッターで災害情報の提供
- ・想定最大規模の洪水での避難計画を考慮したハザードマップの作成・周知及びまるごとまちごとハザードマップの推進  
⇒ 令和4年度配布に向け県管理河川の最大浸水想定と雄物川の最大浸水想定を組み合わせたハザードマップの作成準備



防災ラジオ



マイタイムライン講習会

## ■ソフト対策【ねばる】 ②氾濫被害の防止や軽減、 避難時間の確保のための情報共有と水防活動の強化

### ○より効果的な水防活動の実施及び水防体制の強化に関する取組

- ・流域内の関係機関が防災情報を共有できる体制の整備
  - ⇒雄物川大規模氾濫時の減災対策協議会への参加（第9回7/20、第10回3/16開催）
  - ⇒雄物川圏域流域治水協議会への参加（第2回12/18、第3回3/16開催）

## ■ソフト対策【ねばる】 ②氾濫被害の防止や軽減、 避難時間の確保のための情報共有と水防活動の強化

### ○より効果的な水防活動の実施及び水防体制の強化に関する取組

- ・重要水防箇所の合同巡視
  - ⇒秋田県との合同パトロールの実施（令和2年6月29日）
- ・水防資機材の保有状況の確認
  - ⇒適切に在庫管理



水防箇所の合同巡視

## ■ハード対策（避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備）

### ○簡易水位計等の基盤整備

- ⇒ 古川流域の排水機場整備に関する詳細設計業務委託等を実施
- ⇒ 古川流域の見える化を図るため河川カメラを設置

## ■ソフト対策【動かす】<sup>①逃げ遅れゼロに向けた迅速な情報発信と避難の誘導</sup>

### ○平時からのリスク情報の周知と防災教育・訓練等に関する取組

- ・タイムラインを活用したロールプレイング等のリアリティのある防災訓練の実施
  - ⇒ 雄物川洪水対応演習等への参加
- ・水害リスクを共有するための教育機関等と連携した防災教育の実施
  - ⇒ 雄物川流域の学校を対象にした防災教育の実施
- ・要配慮者利用施設における避難計画の作成及び訓練の促進
  - ⇒ 要配慮者利用施設への避難確保計画の作成支援

### ○発災時の迅速かつ確実な避難に関する取組

- ・住民の避難行動に着目した各市町のタイムラインの運用及びマイタイムラインの作成
  - ⇒ マイタイムラインの自主防災組織等への周知・啓発
- ・住民の主体的避難を促す情報伝達手段の拡充（防災メール、防災ラジオ、SNS等）
  - ⇒ ラジオ等による秋田市防災情報の継続的な発信
  - ⇒ 防災ネットあきたへの登録推進
- ・想定最大規模の洪水での避難計画を考慮したハザードマップの作成・周知及びまるごとまちごとハザードマップの推進
  - ⇒ 令和4年度配布に向け県管理河川の最大浸水想定と雄物川の最大浸水想定を組み合わせたハザードマップを作成



総合防災訓練（避難所運営訓練）

## ■ソフト対策【ねばる】 ②氾濫被害の防止や軽減、避難時間の確保のための情報共有と水防活動の強化

### ○より効果的な水防活動の実施及び水防体制の強化に関する取組

- ・流域内の関係機関が防災情報を共有できる体制の整備
  - ⇒ 雄物川大規模氾濫時の減災対策協議会およびへの参加
  - ⇒ 雄物川圏域流域治水協議会への参加

### ○より効果的な水防活動の実施及び水防体制の強化に関する取組

- ・重要水防箇所の合同巡視
  - ⇒ 国や関係機関等とのパトロールの実施
- ・水防資機材の保有状況の確認
  - ⇒ 必要資材の拡充

### ○排水活動及び訓練、施設運用に関する取組

- ・関係機関と連携したリアリティのある水防・排水訓練の実施
  - ⇒ 水防訓練の実施
  - ⇒ 災害対策用排水ポンプ車による排水訓練の実施



水防訓練



ポンプ車による排水作業



## ■ハード対策（避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備）

○庁舎や排水機場等の耐水性の確認・対策（耐水化・BCP等ソフト対策を含む）

⇒ **雄物川庁舎、十文字庁舎が完成**（自家発電設備設置）

横手市業務継続計画（BCP）の運用

## ■ソフト対策【動かす】 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速な情報発信と避難の誘導

○平時からのリスク情報の周知と防災教育・訓練等に関する取組

・水害リスクの高い区間における地域住民が参加する共同点検や避難訓練の実施

⇒ 10月3日（土）**土砂災害訓練**実施（大雨による災害発生を想定）

◇2地区9集落が参加。**自衛隊、秋田県LPガス協会**連携協力

◇**感染症対策**に配慮した避難所運営訓練

・水害リスクを共有するための教育機関等と連携した防災教育の実施

⇒ 市内中学校における**防災マップ作り授業**の実施（中学校1校）

◇教育委員会が主体となり、特定非営利活動法人秋田県防災士会と連携

⇒ 市内小学校における**水害に関する防災講話**の実施（小学校2校）

・要配慮者利用施設の避難確保計画の作成及び訓練の促進

⇒ 雄物川浸水エリアの精査により、**対象施設が増加**（6ヶ所⇒38ヶ所）

◇令和2年8月、対象施設あてに**避難確保計画作成通知・作成支援**



【土砂災害訓練】自衛隊、秋田県LPガス協会連携



【土砂災害訓練】秋田県LPガス協会による給電訓練

## ■ソフト対策【動かす】

①逃げ遅れゼロに向けた  
迅速な情報発信と避難の誘導

### ○発災時の迅速かつ確実な避難に関する取組

- ・住民の避難行動に着目した各市町のタイムラインの運用及びマイタイムラインの作成

⇒ **マイタイムライン**に特化した講習会の開催(10地域162人参加)

- ・住民の主体的避難を促す情報伝達手段の拡充（防災メール、防災ラジオ、SNS等）

⇒防災行政無線、防災ラジオ、安全安心メール、エリアメール、

横手市公式LINE・ツイッター・フェイスブック、よこてれびの活用

- ・想定最大規模の洪水での避難計画を考慮したハザードマップの作成・周知

⇒ ハザードマップの周知普及

**防災講話の開催**(27回661人参加)

**コミュニティFM**を活用した周知(5分×10回、30分×3回)

**横手川(県管理河川)ハザードマップ作成**(想定最大規模)



マイタイムライン講習会(7/22増田西成瀬地区)

## ■ソフト対策【ねばる】

②氾濫被害の防止や軽減、  
避難時間の確保のための情報共有と水防活動の強化

### ○より効果的な水防活動の実施及び水防体制の強化に関する取組

- ・ **重要水防箇所の合同巡視**

⇒ 7月1日(水) 湯沢河川国道事務所、横手市、横手市消防本部、各消防支団参加

⇒ 7月14日(火) 平鹿地域振興局、横手市、横手市消防本部参加



重要水防箇所合同巡視(7/1 雄物川上流)



## ■ハード対策（避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備）

○庁舎や排水機場等の耐水性の確認・対策（耐水化・BCP等ソフト対策を含む）

⇒ 横手市業務継続計画（BCP）の改定と運用(継続)

## ■ソフト対策【動かす】 ①逃げ遅れゼロに向けた 迅速な情報発信と避難の誘導

○平時からのリスク情報の周知と防災教育・訓練等に関する取組

・水害リスクの高い地域における地域住民が参加する共同点検や避難訓練の実施

⇒ 8月28日（土）**横手市総合防災訓練**を実施予定(継続)

◇関係機関、災害時応援協定締結事業所との連携を予定

・水害リスクを共有するための教育機関等と連携した防災教育の実施

⇒ 市内中学校における**防災マップ作り授業**の開催(継続)

◇教育委員会が主体となり、特定非営利活動法人秋田県防災士会と連携

・今年度1校を予定しており、全ての中学校(6校)で実施済みとなる。

⇒ 市内小中学校における**防災講話**の実施(継続)

・要配慮者利用施設の避難計画の作成及び訓練の促進

⇒ **避難確保計画の策定支援と避難訓練**の実施促進(継続)

◇雄物川浸水エリア 38施設中25施設計画提出済み(6/21現在)

◇横手川浸水エリア 新規指定施設56施設へ避難確保計画作成通知・作成支援



新型コロナウイルス感染症対策に配慮した避難所開設訓練



要配慮者施設における避難訓練

## ■ソフト対策【動かす】

①逃げ遅れゼロに向けた  
迅速な情報発信と避難の誘導

### ○発災時の迅速かつ確実な避難に関する取組

#### ・住民の主体的避難を促す情報伝達手段の拡充（防災メール、防災ラジオ、SNS等）

⇒ ウェブサイトを活用した**新たなハザードマップの公開**(新規)

◇携帯端末の位置情報から現在地の災害危険個所の確認可能

◇避難所開設情報や通行止め情報をリアルタイムで掲載予定

⇒ **防災ラジオ難視聴対策**の実施(新規)

◇難視聴地域における個別アンテナの設置

#### ・想定最大規模の洪水での避難計画を考慮したハザードマップの作成・周知

⇒ 横手川洪水時浸水エリア拡大に伴う**ハザードマップの配布・周知促進**(新規)

## ■ソフト対策【ねばる】

②氾濫被害の防止や軽減、  
避難時間の確保のための情報共有と水防活動の強化

### ○より効果的な水防活動の実施及び水防体制の強化に関する取組

#### ・関係機関が連携した水防訓練・水防団同士の連絡体制の再確認の実施

⇒ 横手市消防団における**支団単位での水防講習会の開催**(6月5日)(新規)

◇基本結索、土嚢作成、改良積土嚢工法、応急シート張り工法

#### ・重要水防箇所の合同巡視(継続)

⇒ 5月28日(金)湯沢河川国道事務所、横手市、横手市消防本部、各消防支団参加

⇒ 7月8日(木)平鹿地域振興局、横手市、横手市消防本部参加

#### ・水防資機材の保有状況の確認

⇒ 水防資機材の保有状況調査、災害備蓄品更新計画策定(継続)

⇒ **土嚢作成・備蓄**(消防署・各分署)(新規)



水防講習会(改良積土嚢工法)



水防講習会(応急シート張り工法)

## ■ハード対策（避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備）

### ○庁舎や排水機場等の耐水性の確認・対策（耐水化・BCP等ソフト対策を含む）

⇒ 湯沢市業務継続計画（BCP）の運用

## ■ソフト対策【動かす】<sup>①逃げ遅れゼロに向けた 迅速な情報発信と避難の誘導</sup>

### ○平時からのリスク情報の周知と防災教育・訓練等に関する取組

- ・ 市長自らのスキルアップのための研修会への参加
  - ⇒ 「令和2年度市町村長の災害対応力強化のための研修」を市長が受講。
- ・ 自主防災組織の設置、指導及び育成に係る研修会の実施
  - ⇒ 重点事業として継続して実施。
  - ⇒ 県主催による「自主防災組織育成指導者研修会」を湯沢市で実施。
- ・ 地域の防災力向上に向けた施策の実施
  - ⇒ 湯沢市防災士の会の設立及び研修会の開催等による地域防災リーダーの育成
  - ⇒ 水害リスクの高い地域への出前講座を実施
- ・ リアリティのある防災訓練の実施
  - ⇒ 大雨と大地震を組み合わせた図上訓練の実施。（10月27日実施）
- ・ 要配慮者利用施設との情報共有・連絡体制の整備
  - ⇒ 特に洪水リスクが高い要配慮者利用施設へ市長自ら訪問し、洪水時の避難に関しての意見交換を実施するとともに、市長と施設長とのホットライン体制を整備。
  - ⇒ 要配慮者利用施設の防災研修会に参加し、避難確保計画等について情報交換を実施。



「湯沢市防災士の会」を設立



市長と要配慮者利用施設との意見交換

## ■ソフト対策【動かす】<sup>①</sup>逃げ遅れゼロに向けた迅速な情報発信と避難の誘導

### ○発災時の迅速かつ確実な避難に関する取組

- ・住民の避難行動に着目したタイムラインの運用  
⇒出前講座等の場を活用したマイ・タイムラインの周知
- ・住民の主体的避難を促す情報伝達手段の整備  
⇒防災行政無線施設の運用開始（令和3年3月12日から）  
⇒緊急・防災メールの登録促進、SNSによる情報発信の充実（FaceBook・Twitter・LINE）
- ・想定最大規模の洪水における避難計画を考慮した防災マップの周知・活用  
⇒湯沢市地区版防災マップの周知徹底・防災講座等を通じた教育の実施

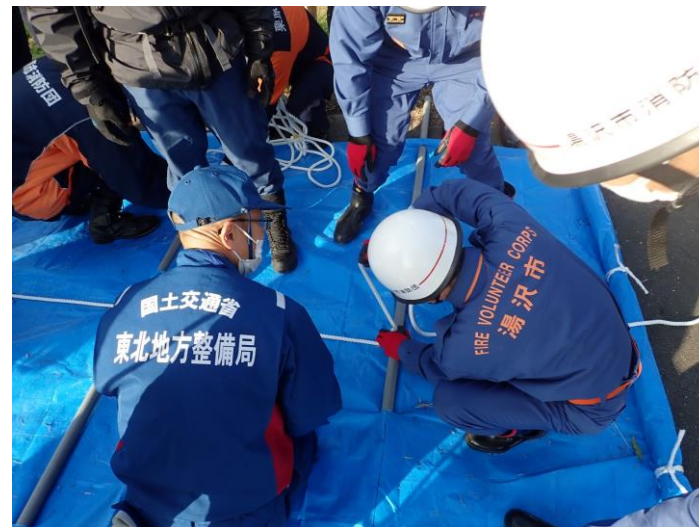


防災行政無線施設（操作卓）

## ■ソフト対策【ねばる】<sup>②</sup>氾濫被害の防止や軽減、避難時間の確保のための情報共有と水防活動の強化

### ○より効果的な水防活動の実施及び水防体制の強化に関する取組

- ・関係機関が連携した水防訓練・水防団同士の連絡体制の再確認の実施  
⇒令和2年6月1日～30日 湯沢雄勝地区水防訓練を実施  
□ロープワーク・水防工法DVDを活用した自宅等における各個訓練を実施  
⇒令和2年11月8日(日) 「令和2年度水防技術講習会」への参加（大崎市で開催）  
水防工法の説明及び実技（シート張り工・月の輪工 等）
- ・重要水防箇所の合同巡視  
⇒6月17日（水） 雄勝地域県管理河川重要水防箇所合同巡視



令和2年度水防技術講習会

## ■ハード対策（避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備）

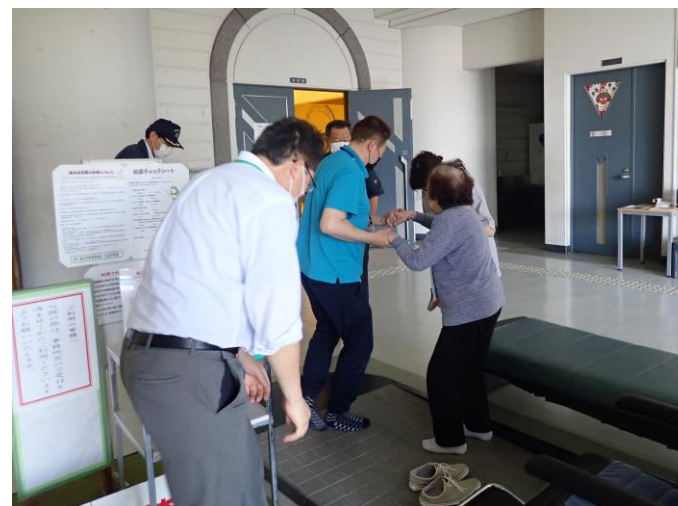
### ○庁舎や排水機場等の耐水性の確認・対策（耐水化・BCP等ソフト対策を含む）

⇒湯沢市業務継続計画（BCP）の運用

## ■ソフト対策【動かす】<sup>①</sup>逃げ遅れゼロに向けた迅速な情報発信と避難の誘導

### ○平時からのリスク情報の周知と防災教育・訓練等に関する取組

- ・自主防災組織の設置、指導及び育成に係る研修会の実施
  - ⇒重点事業として継続して推進
- ・地域の防災力向上に向けた施策の実施
  - ⇒湯沢市防災士の会における研修会の開催及び秋田県総合防災訓練への参加等による地域防災リーダーの育成
- ・リアリティのある防災訓練の実施
  - ⇒大規模災害を想定した図上訓練の実施（10月～11月頃予定）
  - ⇒秋田県総合防災訓練における自主防災組織活動訓練の実施（令和3年8月29日（日）予定）
- ・水害リスクの高い区間における避難訓練の実施
  - ⇒湯沢市総合水防訓練の実施（令和3年5月26日（水）実施）
- ・水害リスクを共有するための防災教育の実施
  - ⇒出前講座による防災講話を継続して実施
- ・要配慮者利用施設の避難計画に基づく訓練の促進
  - ⇒避難確保計画の実効性をより高めるための計画修正等の支援を随時実施



湯沢市総合水防訓練における要配慮者避難

## ■ソフト対策【動かす】

①逃げ遅れゼロに向けた  
迅速な情報発信と避難の誘導

### ○発災時の迅速かつ確実な避難に関する取組

- ・住民の避難行動に着目したタイムラインの運用及びマイ・タイムラインの作成  
 ⇨市民への周知徹底とタイムラインの見直し（継続実施）  
 ⇨出前講座等の場を活用したマイ・タイムライン講習会による作成支援
- ・住民の主体的避難を促す情報伝達手段の拡充  
 ⇨防災行政無線とスマートフォンの連携等、更なる効果的な運用の調査・検討
- ・想定最大規模の洪水における避難計画を考慮した防災マップの周知・活用  
 ⇨湯沢市地区版防災マップの周知徹底・防災講座等を通じた教育の実施（継続実施）

## ■ソフト対策【ねばる】

②氾濫被害の防止や軽減、  
避難時間の確保のための情報共有と水防活動の強化

### ○より効果的な水防活動の実施及び水防体制の強化に関する取組

- ・流域内の関係機関が防災情報を共有できる体制の整備  
 ⇨継続して連携
- ・関係機関が連携した水防訓練・水防団同士の連絡体制の再確認の実施  
 ⇨湯沢雄勝地区水防訓練（自宅等における各個訓練の実施）  
     ロープワーク・水防工法DVDを活用した自学研鑽
- ・重要水防箇所点検  
 ⇨5月18日 重要水防箇所合同巡視  
     6月7日 雄勝地域県管理河川重要水防箇所合同巡視
- ・水防資機材の保有状況の確認  
 ⇨継続実施



湯沢雄勝地区水防訓練における各個訓練



雄勝地域県管理河川重要水防箇所合同巡視

## ■ハード対策 (避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備)

○庁舎や排水機場等の耐水性の確認・対策 (耐水化・BCP等ソフト対策を含む)

- ⇒可搬式排水ポンプ8インチ4基の購入 (協和地域・南外地域)
- ⇒トランシーバー166台の購入 (水防団)

## ■ソフト対策【動かす】 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速な情報発信と避難の誘導

○平時からのリスク情報の周知と防災教育・訓練等に関する取組

- ・タイムラインを活用したロールプレイング等のリアリティのある防災訓練の実施
  - ⇒国交省主催と連携した洪水対応演習 (5月15日)
  - ⇒ 外国人避難者を想定し、**南外中学校で避難所開設訓練**を実施  
(9月29日「生き抜く力事業」防災教育)
- ・水害リスクを共有するための教育機関等と連携した防災教育の実施
  - ⇒職員を対象とした**災害対応職員研修** (8月6日)
- ・要配慮者利用施設の避難計画の作成及び訓練の促進
  - ⇒ 避難訓練実施の呼び掛け (**133/133施設で計画策定済**)  
(**68/133施設で訓練実施済**)



避難所開設訓練 (9/29)

## ■ソフト対策【動かす】

①逃げ遅れゼロに向けた  
迅速な情報発信と避難の誘導

### ○発災時の迅速かつ確実な避難に関する取組

- ・住民の避難行動に着目した各市町のタイムラインの運用及びマイタイムラインの作成  
⇒ 自主防災組織毎に「**地区防災マップ・マイタイムライン**」の作成促進  
(R2年度9組織作成)
- ・住民の主体的避難を促す情報伝達手段の拡充  
⇒ 防災ラジオの販売促進、防災メール、ヤフー防災、Twitter、Line、各種SNS
- ・想定最大規模の洪水での避難計画を考慮したハザードマップの作成・周知  
⇒ **新ハザードマップ作成中**（年度末完成予定）
- ・住民の避難情報に関する意識調査などを実施し、取組方針へ反映  
⇒ **地区防災マップ**等により反映  
⇒ 自主防災組織及び防災士への**指導者講習会**の実施（11月18日）



国交省との河川合同巡視（6/25）

## ■ソフト対策【ねばる】

②氾濫被害の防止や軽減、  
避難時間の確保のための情報共有と水防活動の強化

### ○より効果的な水防活動の実施及び水防体制の強化に関する取組

- ・重要水防箇所の合同巡視  
⇒ 国、県との**合同巡視**を実施（国6月25日）（県7月10日）
- ・水防資機材の保有状況の確認  
⇒ 土のう等の備蓄の確認（約10,000袋）



指導者講習会（11/18）



## ■ハード対策 （避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備）

○庁舎や排水機場等の耐水性の確認・対策（耐水化・BCP等ソフト対策を含む）

- ⇒常設排水ポンプ3箇所（18 t /分×5台）設置（7月下旬完成予定）
- ⇒排水ポンプ車（60t/分）配備、運用（7月中旬納車予定）
- ⇒水害頻発地域の雨水流量調査



排水ポンプ車

## ■ソフト対策【動かす】 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速な情報発信と避難の誘導

○平時からのリスク情報の周知と防災教育・訓練等に関する取組

- ・他機関連携型タイムラインの充実
  - ⇒国交省と連携した「**洪水対応演習（5月）**」の実施（継続）
- ・水害リスクを共有するための教育機関等と連携した防災教育の実施
  - ⇒中学校等における**避難所開設訓練**などを実施（継続）
- ・要配慮者利用施設の避難計画の作成及び訓練の促進
  - ⇒新規開設施設への**避難確保計画作成**と**避難訓練**の実施を促進（継続）



避難所開設訓練

## ■ソフト対策【動かす】

①逃げ遅れゼロに向けた  
迅速な情報発信と避難の誘導

### ○発災時の迅速かつ確実な避難に関する取組

- ・住民の避難行動に着目した各市町のタイムラインの運用及びマイタイムラインの作成
  - ⇒ 自主防災組織へ「**地区防災マップ・マイタイムライン**」の作成促進
- ・住民の主体的避難を促す情報伝達手段の拡充（防災メール、防災ラジオ、SNS等）
  - ⇒ 防災メール、携帯アプリ、各種SNS、防災ラジオ等を活用した**情報伝達手段の多重化**、
- ・想定最大規模の洪水での避難計画を考慮したハザードマップの作成・周知
  - ⇒ **R3年度ハザードマップ作成**（年度末完成予定）
  - ⇒ **広域避難・遠方避難体制**の構築
    - 車や公共交通機関を利用し遠方への避難を推奨
    - 市町村間での連携した訓練を実施
    - 避難ルート安全性や渋滞の発生などについて検証
  - ⇒ 自主防災組織への地区防災マップ作成促進と、自主防災組織及び防災士への**指導者講習会の実施**（10月～11月）



指導者講習会（10月～11月）

## ■ソフト対策【ねばる】

②氾濫被害の防止や軽減、  
避難時間の確保のための情報共有と水防活動の強化

### ○より効果的な水防活動の実施及び水防体制の強化に関する取組

- ・流域内の関係機関が防災情報を共有できる体制の整備
  - ⇒ 消防団と自主防災組織、防災士による**連絡体制の構築**



地区防災マップ作成説明会

## ■ソフト対策【ねばる】 ②氾濫被害の防止や軽減、避難時間の確保のための情報共有と水防活動の強化

### ○より効果的な水防活動の実施及び水防体制の強化に関する取組

- ・重要水防箇所の合同巡視
  - ⇒ 国の重要水防箇所の合同巡視（5月開催）
  - ⇒ 県の重要水防箇所の合同巡視（7月開催）
- ・水防資機材の保有状況の確認
  - ⇒ **土のうの作成**（6月実施）



重要水防箇所の合同巡視

### ○排水活動及び訓練、施設運用に関する取組

- ・排水施設等の情報共有、浸水区域内の自然勾配を踏まえた排水の検討を行い、大規模水害を想定した氾濫時の緊急排水計画（案）を作成
  - ⇒ **田んぼダム実施**に向け農家・農業団体への説明会を実施中
  - 【実施済】大曲地域、中仙地域、仙北地域、太田地域実施
- ・関係機関と連携したリアリティのある水防・排水訓練の実施
  - ⇒ 県との福部内川水門稼働等の合同訓練（6月25日）



田んぼダムの推進

## ■ハード対策（避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備）

○庁舎や排水機場等の耐水性の確認・対策（耐水化・BCP等ソフト対策を含む）

⇒ 角館庁舎を整備し、自家発電も設置した。

## ■ソフト対策【動かす】<sup>①逃げ遅れゼロに向けた迅速な情報発信と避難の誘導</sup>

○平時からのリスク情報の周知と防災教育・訓練等に関する取組

- ・水害リスクの高い区間における地域住民が参加する共同点検や避難訓練の実施  
⇒ 自主防災組織と連携し訓練や啓発活動を実施した。
- ・水害リスクを共有するための教育機関等と連携した防災教育の実施  
⇒ 市内の小中学校で防災教育の実施や過去に発生した土石流現場で総合的な防災教育を実施。
- ・要配慮者利用施設の避難計画の作成及び訓練の促進  
⇒ **避難訓練を毎年実施するよう周知する**
- ・地域包括支援センター等との連携  
⇒ 災害時における介護事業所と市役所の情報共有方法を打ち合わせしている。

○発災時の迅速かつ確実な避難に関する取組

- ・住民の主体的避難を促す情報伝達手段の拡充（防災メール、防災ラジオ、SNS等）  
⇒ **音声応答システム（テレドーム）を導入した。**

○より効果的な水防活動の実施及び水防体制の強化に関する取組

- ・水防資機材の保有状況の確認  
⇒ 出水期前に保有状況を確認した。

### 市内の小中学校で防災教育を実施した



### 音声応答システム（テレドーム）



## ■ソフト対策【動かす】

①逃げ遅れゼロに向けた  
迅速な情報発信と避難の誘導

### ○平時からのリスク情報の周知と防災教育・訓練等に関する取組

- ・水害リスクの高い区間における地域住民が参加する共同点検や避難訓練の実施  
⇒ 自主防災組織と連携し訓練をする。
- ・水害リスクを共有するための教育機関等と連携した防災教育の実施  
⇒ 各学校と連携し、防災教育を実施していく。
- ・要配慮者利用施設の避難計画の作成及び訓練の促進  
⇒ **各施設と連携し、適切指導助言をする。**
- ・地域包括支援センター等との連携  
⇒

### ○発災時の迅速かつ確実な避難に関する取組

- ・適切な土地利用の促進  
⇒ **田んぼダムへ協力して頂くため、市民の方へ周知する。**

### ○より効果的な水防活動の実施及び水防体制の強化に関する取組

- ・水防資機材の保有状況の確認  
⇒ 出水期前に資機材を確認する。

## ■ハード対策（避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備）

○庁舎や排水機場等の耐水性の確認・対策（耐水化・BCP等ソフト対策を含む）

⇒美郷町業務継続計画（BCP）を運用中

## ■ソフト対策【動かす】①逃げ遅れゼロに向けた迅速な情報発信と避難の誘導

○平時からのリスク情報の周知と防災教育・訓練等に関する取組

・水害リスクの高い区間における地域住民が参加する共同点検や避難訓練の実施

⇒県振興局と危険箇所の合同点検を実施

○発災時の迅速かつ確実な避難に関する取組

・住民の主体的避難を促す情報伝達手段の拡充（防災メール、防災ラジオ、SNS等）

⇒防災無線、防災ラジオ及び防災メールの運用

## ■ソフト対策【ねばる】②氾濫被害の防止や軽減、避難時間の確保のための情報共有と水防活動の強化

○より効果的な水防活動の実施及び水防体制の強化に関する取組

・関係機関が連携した水防訓練・水防団同士の連絡体制の再確認の実施

⇒出水期前に新入団員を対象としたロープワーク訓練の実施

・水防資機材の保有状況の確認

⇒出水期前に水防倉庫及び各消防ポンプ庫の水防資機材の保有数を確認



## ■ハード対策（避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備）

○庁舎や排水機場等の耐水性の確認・対策（耐水化・BCP等ソフト対策を含む）

⇒美郷町業務継続計画（BCP）を運用中

## ■ソフト対策【動かす】<sup>①逃げ遅れゼロに向けた迅速な情報発信と避難の誘導</sup>

○平時からのリスク情報の周知と防災教育・訓練等に関する取組

・水害リスクの高い区間における地域住民が参加する共同点検や避難訓練の実施

⇒県振興局と危険箇所の合同点検を実施

○発災時の迅速かつ確実な避難に関する取組

・住民の主体的避難を促す情報伝達手段の拡充（防災メール、防災ラジオ、SNS等）

⇒防災無線、防災ラジオ及び防災メールの運用

## ■ソフト対策【ねばる】<sup>②氾濫被害の防止や軽減、避難時間の確保のための情報共有と水防活動の強化</sup>

○より効果的な水防活動の実施及び水防体制の強化に関する取組

・水防資機材の保有状況の確認

⇒出水期前に水防倉庫及び各消防ポンプ庫の水防資機材の保有数を確認

## ■ハード対策 (避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備)

### ○庁舎や排水機場等の耐水性の確認・対策

⇒ 羽後町業務継続計画 (BCP) の運用およびこれに基づく施設点検・保守

## ■ソフト対策【動かす】 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速な情報発信と避難の誘導

### ○平時からのリスク情報の周知と防災教育・訓練等に関する取組

・洪水、浸水等の大規模自然災害に対する地域強靱化に向けた指針づくり

⇒ 令和2年8月 羽後町国土強靱化計画を策定

### ○発災時の迅速かつ確実な避難に関する取組

・ハザードマップを活用した避難行動

⇒ 地域住民・民生委員を対象に防災講話を実施

・住民の主体的避難を促す情報伝達手段の拡充

⇒ 継続実施

## ■ソフト対策【ねばる】 ②氾濫被害の防止や軽減、避難時間の確保のための情報共有と水防活動の強化

### ○より効果的な水防活動の実施及び水防体制の強化に関する取組

・水防訓練・水防団同士の連絡体制の再確認の実施

⇒ 感染症対策のため、水防団個別に少人数にて水防講習を実施

令和2年6月  
水防団地元での各個講習



令和2年10月4日  
防災講話 (鶴巣地区)





## ■ハード対策 （避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備）

### ○庁舎や排水機場等の耐水性の確認・対策

⇒ 羽後町業務継続計画（BCP）の運用およびこれに基づく施設点検・保守

## ■ソフト対策【動かす】 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速な情報発信と避難の誘導

### ○平時からのリスク情報の周知と防災教育・訓練等に関する取組

・ 水害リスクの高い地域における地域住民が参加する共同点検や避難訓練の実施

⇒ 令和3年10月 元西赤沢地区にて**ため池防災訓練**の実施

### ○発災時の迅速かつ確実な避難に関する取組

・ 住民の主体的避難を促す情報伝達手段の拡充（防災メール、防災ラジオ、SNS等）

⇒ 防災行政無線等の**情報配信システムの更新・多重化について検討**

・ 要配慮者利用施設の避難計画の作成及び訓練の促進

⇒ 避難訓練の実施支援および計画未策定施設の策定支援を実施

## ■ソフト対策【ねばる】 ②氾濫被害の防止や軽減、避難時間の確保のための情報共有と水防活動の強化

### ○より効果的な水防活動の実施及び水防体制の強化に関する取組

・ 重要水防箇所の合同巡視

⇒ 直轄河川の重要水防箇所の合同点検に参加予定

・ 水防訓練・水防団同士の連絡体制の再確認の実施

・ 流域内の関係機関が防災情報を共有できる体制の整備

⇒ 継続実施



防災訓練



内水氾濫時における水防活動  
（平成26年 鶴巣地区にて）

## ■ハード対策（避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備）

○庁舎や排水機場等の耐水性の確認・対策（耐水化・BCP等ソフト対策を含む）

⇒ 東成瀬村業務継続計画の運用

## ■ソフト対策【動かす】<sup>①逃げ遅れゼロに向けた 迅速な情報発信と避難の誘導</sup>

○発災時の迅速かつ確実な避難に関する取組

・住民の主体的避難を促す情報伝達手段の拡充（防災メール、防災ラジオ、SNS等）

⇒ 防災行政無線の維持管理、新規格に対応した移動系無線機の整備

## ■ハード対策（避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備）

○庁舎や排水機場等の耐水性の確認・対策（耐水化・BCP等ソフト対策を含む）

⇒ **東成瀬村業務継続計画の運用**

## ■ソフト対策【動かす】 ①逃げ遅れゼロに向けた 迅速な情報発信と避難の誘導

○平時からのリスク情報の周知と防災教育・訓練等に関する取組

・多機関連携型タイムラインの充実

⇒ **気象防災ワークショップへの参加**

・要配慮者利用施設の避難計画の作成及び訓練の促進

⇒ **該当施設に対し、避難計画の作成と訓練の実施を呼びかける**

○発災時の迅速かつ確実な避難に関する取組

・住民の主体的避難を促す情報伝達手段の拡充（防災メール、防災ラジオ、SNS等）

⇒ **防災行政無線の維持管理、新規格に対応した移動系無線機の整備**

## ■ソフト対策【ねばる】 ②氾濫被害の防止や軽減、 避難時間の確保のための情報共有と水防活動の強化

○より効果的な水防活動の実施及び水防体制の強化に関する取組

・関係機関が連携した水防訓練・水防団同士の連絡体制の再確認の実施

⇒ **水防訓練の実施**

## ■ソフト対策【動かす】

①逃げ遅れゼロに向けた  
迅速な情報発信と避難の誘導

### ○平時からのリスク情報の周知と防災教育・訓練等に関する取組

- ・水害リスクを共有するための教育機関等と連携した防災教育の実施

⇒県内自主防災組織や教育機関(中学校・高校)に自主防災アドバイザーを派遣  
気象防災ワークショップの開催

## ■ソフト対策【ねばる】

②氾濫被害の防止や軽減、  
避難時間の確保のための情報共有と水防活動の強化

### ○より効果的な水防活動の実施及び水防体制の強化に関する取組

- ・流域内の関係機関が防災情報を共有できる体制の整備

⇒ R 2. 5 Lアラート全国合同訓練の実施  
R 2. 6 オンライン配信を伴う河川洪水予報の伝達演習の実施



気象防災ワークショップの開催状況

## ■ソフト対策【動かす】

①逃げ遅れゼロに向けた  
迅速な情報発信と避難の誘導

### ○平時からのリスク情報の周知と防災教育・訓練等に関する取組

- ・水害リスクを共有するための教育機関等と連携した防災教育の実施

⇒ 自主防災アドバイザーの派遣、出前講座、気象防災ワークショップなどの継続実施

## ■ソフト対策【ねばる】

②氾濫被害の防止や軽減、  
避難時間の確保のための情報共有と水防活動の強化

### ○より効果的な水防活動の実施及び水防体制の強化に関する取組

- ・流域内の関係機関が防災情報を共有できる体制の整備

⇒ Lアラートの配信訓練

秋田県災害情報発信システムの運用

## ■ハード対策 (避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備)

○簡易水位計等の基盤整備

### ⇒ 危機管理型水位計の設置

- ・ きめ細やかな水位把握が必要な河川へ設置し、洪水時における市町村の避難勧告等の発令や地域住民の適時的確な避難に役立つ水位情報提供の充実を図る。
- ・ データ画像は、秋田県河川砂防情報システムにて公表。

<http://sabo.pref.akita.jp/kasensabo/index.html>



【猿田川】秋田市牛島西 (開中道二号橋)

県管理河川 水系別 危機管理型水位計設置数 単位：基

水系	危機管理型水位計設置河川	危機管理型水位計		
		H31.4月運用開始	R3.4月運用開始	計
米代川	49	65	0	65
子吉川	5	8	1	9
<b>雄物川</b>	<b>65</b>	<b>73</b>	<b>7</b>	<b>80</b>
馬場目川	14	17	1	18
白雪川	1	2	0	2
衣川	2	2	0	2
奈曾川	2	1	1	2
賀茂川	1	1	1	2
その他	9	8	0	8
	148	177	11	188

## 秋田県河川砂防情報システム

### 雨量観測情報

- 状況図
- 現況表
- 一括表選択
- 一覧表選択

### 地域別計

知りたい情報を選択地域に絞り込まれ

雨量情報



### 水位観測情報

- 状況図
- 現況表
- 一括表選択
- 一覧表選択

河川カメラ

秋田県 河川砂防情報システム

TOP データ種別 | 雨量 | 水 | 危機管理型水位計 | 河川カメラ | ダム |

表示形式 | 状況図 | 現況表 | 一括表 | 一覧表

メニュー  
 ・ 全県観測情報(状況図) >  
 ・ 全県観測情報(現況表) >  
 ・ 洪水予報発表情報  
 ・ 水防警報・水位到達情報

★リンク  
 秋田県  
 ・ 秋田県  
 ・ 河川砂防課

県内の他ダム  
 ・ 玉川ダム

その他  
 ・ 財団法人日本ダム協会

危機管理型水位状況図(全県) 2021年06月22日 16時50分 現在

アイコンをクリックするとグラフを表示します。

凡例(危機管理型水位計局)

- ▲ 氾濫開始水位超過
- ▲ 危険水位超過
- ▲ 観測開始水位超過
- ▲ 観測開始水位未滿
- ▲ 欠測/無効

凡例(水位局)

- 氾濫発生
- 氾濫危険水位超過
- 避難判断水位超過
- 氾濫注意水位超過
- 水防団待機水位超過
- 通常
- 欠測/無効
- ↑ 上昇中
- 変化なし
- ↓ 下降中

危機管理型水位グラフ

観測局情報

観測所名	秋田地域振興局	市町村名	秋田市
観測所名	開中道二号橋(河川堤岸)	河川名	猿田川
水位局	秋田市	管轄	秋田地域振興局

現在、観測開始水位以下です。

観測データ (05/17 01:00-05/17 24:00)

月/日	05/17											
時/分	01:00	02:00	03:00	04:00	05:00	06:00	07:00	08:00	09:00	10:00	11:00	12:00
時間	3.0	4.0	3.0	10.0	11.0	7.0	5.0	1.0	0.0	0.0	0.0	0.0
累加	31.0	35.0	38.0	48.0	59.0	66.0	71.0	72.0	72.0	72.0	72.0	72.0
水位					-2.92	-2.70	-2.53	-2.48	-2.48	-2.48	-2.51	-2.57

## ■ハード対策 (避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備)

○簡易型カメラ等の基盤整備

⇒ 簡易型河川監視カメラの設置

・リアリティーのある河川の状況を画像で伝えることで、住民の適時的確な避難判断、避難行動を促す。

・カメラの画像は、秋田県河川砂防情報システムにて公表。

<http://sabo.pref.akita.jp/kasensabo/index.html>



県管理河川 水系別 簡易型監視カメラ設置数 単位:基

水系	カメラ設置 河川	簡易型監視カメラ		
		R2. 4月 運用開始	R3. 3月 運用開始	計
雄物川	20	24	4	28
米代川	14	14	2	16
子吉川	3	5	2	7
馬場目川	3	3	1	4
白雪川	1	1	0	1
	41	47	9	56

河川カメラ一覧 2021年06月22日 16時50分 現在  
カメラ画像をクリックすると河川カメラ履歴を表示します。

雄勝地域振興局		後内川 橋郷(湯沢市)		後内川 湯ノ岱(湯沢市)		雄物川 下院内(湯沢市)	
日時	06/22 16:50	日時	06/20 24:00	日時	02/20 09:40	日時	02/20 09:40
水位	↓ -0.32[m]	水位	—[m]	水位	—[m]	水位	—[m]
警報状態	通常	警報状態	観測開始水位未満	警報状態	欠測	警報状態	欠測

平鹿地域振興局		横手川 上の橋(横手市)		横手川 寺村(横手市)		横手川 朝倉(横手市)		上溝川 町田(横手市)	
日時	06/22 16:40	日時	06/22 16:50	日時	06/22 16:50	日時	06/22 16:50	日時	06/22 16:50
水位	→ 0.04[m]	水位	↑ -1.02[m]	水位	→ -0.19[m]	水位	↑ 1.16[m]	水位	↑ 1.16[m]
警報状態	通常	警報状態	通常	警報状態	通常	警報状態	通常	警報状態	通常

# R2年度の取組結果（秋田県）

## ■ソフト対策【動かす】 ①逃げ遅れゼロに向けた 迅速な情報発信と避難の誘導

### ○迅速かつ確実な避難に関する取組（ICT等を活用した洪水情報の提供）

⇒ スマートフォンやタブレットで、リアルタイムの河川画像にダイレクトにアクセス可能

### ■マップのQRコードをスマートフォンやタブレットで読み取ることでリアルタイムの河川画像などが見れます。

⇒ 県広報紙「あきたびじょん」R3・4月号で全戸配布済  
※美の国秋田ネットからも確認、ダウンロードできます。

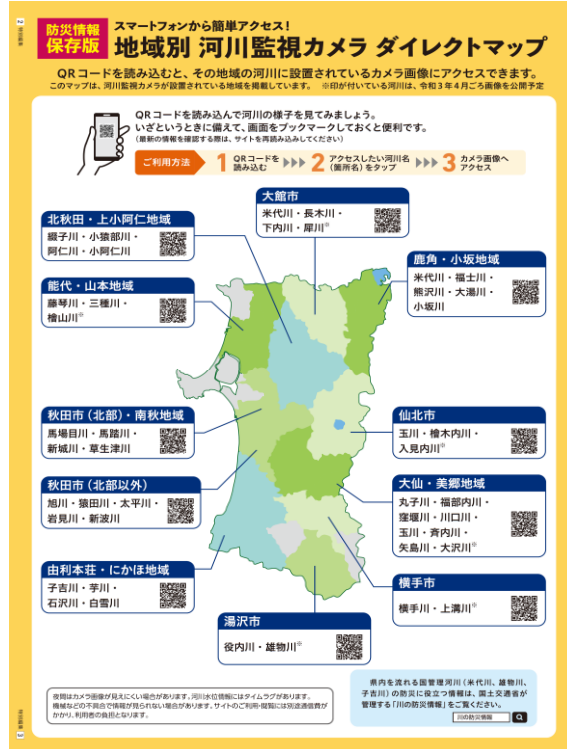
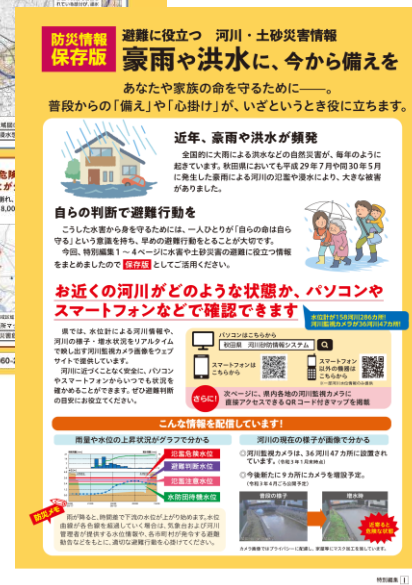
<https://www.pref.akita.lg.jp/pages/archive/48409>

### ■令和3年4月運用開始 「秋田県河川砂防情報システムHP」をスマートフォン対応へ更新しました。

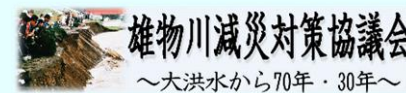
<http://sabo.pref.akita.jp/kasensabo/sp/>



**更新**







## ■ソフト対策【動かす】 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速な情報発信と避難の誘導

### ○発災時の迅速かつ確実な避難に関する取組 (継続実施)

・想定最大規模降雨による浸水想定区域図、氾濫シミュレーション、家屋倒壊等氾濫想定区域の公表  
 ⇒平成27年の水防法の改正に伴い、これまでの洪水浸水想定区域を見直し、秋田県美の国ネットにてデータを公表。  
<https://www.pref.akita.lg.jp/pages/archive/10574>

令和2年度の取組：浸水想定図公表：10河川 水位周知河川指定：1河川 (熊沢川)

令和3年度の取組：浸水想定図公表：3河川 水位周知河川指定：3河川 (犀川、白雪川、入見内川)

河川名	図面名	指定・公表年月日	関係市町村
旭川	洪水浸水想定区域図 (想定最大規模) [PDF/6009KB]	令和元年8月6日	秋田市
	洪水浸水想定区域図 (浸水継続時間) [PDF/6080KB]		
	家屋倒壊等氾濫想定区域図 (氾濫流) [PDF/6079KB]		
	家屋倒壊等氾濫想定区域図 (河岸浸食) [PDF/6079KB]		
太平川	洪水浸水想定区域図 (計画規模) [PDF/5811KB]	令和元年8月6日	秋田市
	洪水浸水想定区域図 (想定最大規模) [PDF/6032KB]		

### 県管理「河川最大規模浸水想定区域」公表状況 (令和2年度末現在)

NO	河川名	管内	市町村	浸想図作成	告示 (R1)	告示 (R2)	備考
1	米代川	鹿角	鹿角市	○	R1. 12. 24		
2	小坂川	鹿角	大館市 小坂町	○		R2. 4. 28	
3	大湯川	鹿角	鹿角市	○		R2. 4. 28	
4	福士川	鹿角	鹿角市	○	R2. 2. 10		
5	下内川	北秋田	大館市	○	R1. 7. 23		
6	長木川	北秋田	大館市	○	R1. 7. 23		
7	綴子川	北秋田	北秋田市	○	R1. 7. 12		
8	小猿部川	北秋田	北秋田市	○	R1. 7. 12		
9	阿仁川	北秋田	北秋田市 山本 能代市	○	R2. 1. 31		
10	小阿仁川	北秋田	北秋田市 上小阿仁村	○	R2. 1. 31		
11	藤琴川	山本	藤里町 能代市	○	R1. 9. 2		
12	三種川	山本	三種町	○	H31. 3. 22		
13	太平川	秋田	秋田市	○	R1. 8. 6		
14	岩見川	秋田	秋田市	○		R2. 7. 10	
15	旭川	秋田	秋田市	○	R1. 8. 6		
16	草生津川	秋田	秋田市	○		R2. 7. 10	
17	猿田川	秋田	秋田市	○		R2. 5. 15	
18	新城川	秋田	秋田市	○	R1. 8. 6		
19	馬場目川	秋田	五城目町 八郎潟町 井川町	○		R2. 7. 10	
20	芋川	由利	由利本荘市	○	R1. 9. 13		
21	川口川	仙北	大仙市	○	R1. 8. 9		
22	窪堰川	仙北	大仙市	○	R1. 8. 9		
23	斉内川	仙北	大仙市	○		R2. 7. 31	
24	矢島川	仙北	大仙市 美郷町	○	R1. 8. 9		
25	丸子川	仙北	大仙市 美郷町	○	R1. 8. 9		
26	福部内川	仙北	大仙市 美郷町	○	R1. 8. 9		
27	玉川	仙北	大仙市 仙北市	○		R2. 7. 31	
28	桧木内川	仙北	仙北市	○		R2. 7. 31	
29	横手川	平鹿	横手市 大仙市 美郷町	○	R1. 11. 29		
30	役内川	雄勝	湯沢市	○	R1. 9. 27		
31	熊沢川	鹿角	鹿角市 18市町村	○		R2. 6. 5 10	

### 県管理「河川最大規模浸水想定区域」公表状況 (令和3年度)

NO	河川名	管内	市町村	浸想図作成	告示 (R3)	告示 (R3以降)	備考
32	犀川	北秋田	大館市	○	R3. 6. 11		
33	白雪川	由利	にかほ市	○	R3. 6. 11		
34	入見内川	仙北	仙北市	○	R3. 6. 11		

## ■ソフト対策【ねばる】 ②氾濫被害の防止や軽減、避難時間の確保のための情報共有と水防活動の強化

○より効果的な水防活動の実施及び水防体制の強化に関する取組(継続実施)

- ・重要水防箇所の合同巡視 ⇨ 洪水時に危険が予想され、重点的な巡視点検が必要な箇所を関係機関と実施。



猿田川 (秋田市)



横手川 (横手市)



丸子川 (美郷町)



田沢川 (羽後町)

## ■ソフト対策【ねばる】 ②氾濫被害の防止や軽減、避難時間の確保のための情報共有と水防活動の強化

○より効果的な水防活動の実施及び水防体制の強化に関する取組（継続実施）

- ・水防資機材の保有状況の確認 ⇨ 事前に水防資機材の点検・準備を整え、直ちに水防活動を実施できる体制を確保。



## ■ソフト対策【ねばる】 ②氾濫被害の防止や軽減、避難時間の確保のための情報共有と水防活動の強化

### ○排水活動及び訓練、施設運用に関する取組（継続実施）

・関係機関と連携したリアリティのある水防・排水訓練の実施

⇒ 梅雨前線による集中豪雨や秋の台風シーズンを控え、排水ポンプ車の操作や機材の設置に習熟するための訓練を実施。



## ■ソフト対策【ねばる】

②氾濫被害の防止や軽減、  
避難時間の確保のための情報共有と水防活動の強化

### ○既存ダムを最大限活用した防災体制の強化に関する取組

・既存ダムが柔軟な対応ができるように、予測も含めたより広域的な下流域の情報を共有できる体制を整備

⇒**気象情報に注視し、農業用利水ダムの事前放流の体制作りを行った。結果、大きな洪水は発生せず、また、かんがい期間中からダム貯水に空容量があり、事前放流は行っていない。**

## ■ソフト対策【ねばる】

②氾濫被害の防止や軽減、  
避難時間の確保のための情報共有と水防活動の強化

### ○既存ダムを最大限活用した防災体制の強化に関する取組

- ・既存ダムが柔軟な対応ができるように、予測も含めたより広域的な下流域の情報を共有できる体制を整備

⇒**気象情報に注視し、農業用利水ダムの事前放流の体制作りを行う。**

## ■ソフト対策【動かす】 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速な情報発信と避難の誘導

○平時からのリスク情報の周知と防災教育・訓練等に関する取組

・多機関連携型タイムラインの充実

⇒東北運輸局ツイッター（mlit\_tohokuunyu）による災害時等の公共交通機関の運行状況の発信・リツイートなど有効的な活用方法や、他機関との連携のあり方について検討を続ける。

○東北運輸局ホームページに見易く「災害・防災情報」と「公共交通機関運行情報」のリンクを配置済み。



○必要に応じて被災した鉄道施設の現地確認。

○必要に応じて鉄道等の災害復旧に係る事業間連携に関する連絡調整会議を開催する。



被災施設の確認

鉄道等の災害復旧に係る連絡調整会議の様相

東北運輸局ホームページ  
<https://www.ttb.mlit.go.jp/tohoku/>

公共交通機関運行情報（東北運輸局HP）  
<https://www.ttb.mlit.go.jp/tohoku/sm/unkoujohou.html>

防災ポータル（国土交通省HP）  
<https://www.mlit.go.jp/river/bousai/olympic/index.html>

参考



## ■ソフト対策【動かす】<sup>①逃げ遅れゼロに向けた迅速な情報発信と避難の誘導</sup>

### ○平時からのリスク情報の周知と防災教育・訓練等に関する取組

- ・タイムラインを活用したロールプレイング等のリアリティのある防災訓練の実施
- ・タイムラインの検証及び改訂
- ・多機関連携型タイムラインの充実

⇒秋田県と連携し地方公共団体防災担当者向け「気象防災ワークショップ」を開催。

各自治体で防災対応の疑似体験していただいた。

- ・2020年6月26日 秋田県庁にて10市町5地域振興局22名が参加。（風水害編）
- ・2020年10月9日 秋田県庁にて7市町4地域振興局16名が参加。（風水害編）

- ・水害リスクを共有するための教育機関等と連携した防災教育の実施

⇒秋田県教育委員会が計画する「学校安全外部指導者派遣事業」に協力し、県内の幼稚園、保育園から高校までの教育施設において、講義や防災紙芝居による防災教育を9の教育施設で実施。

### ○発災時の迅速かつ確実な避難に関する取組

- ・気象情報発信時の「危険度の色分け」や「警報級の現象」等の改善（水害時の情報入手のし易さをサポート）

⇒防災気象情報に関しては、出前講座等で機会あるごとに解説を行い利活用促進に努めている。また、大雨・洪水の注意報、警報基準がより適切な判定結果となるように最新の災害データを基に見直しを行った。



## ■ソフト対策【ねばる】 ②氾濫被害の防止や軽減、避難時間の確保のための情報共有と水防活動の強化

○より効果的な水防活動の実施及び水防体制の強化に関する取組

・流域内の関係機関が防災情報を共有できる体制の整備

⇒災害発生時は、後日各市町村防災担当者と対応についての振り返りを行っている。



学校安全外部指導者派遣事業



気象防災ワークショップ

## ■ソフト対策【動かす】

①逃げ遅れゼロに向けた  
迅速な情報発信と避難の誘導

### ○平時からのリスク情報の周知と防災教育・訓練等に関する取組

- ・タイムラインを活用したロールプレイング等のリアリティのある防災訓練の実施
- ・タイムラインの検証及び改訂
- ・多機関連携型タイムラインの充実

⇒本年度も各機関で防災訓練等の実施の際は是非参加・協力させて頂きたい。

地方公共団体防災担当者向け「気象防災ワークショップ」をリモート環境での開催を検討している。

また、複数の地域振興局から講師派遣の依頼を受け、ワークショップ形式で行うことを予定している。

- ・水害リスクを共有するための教育機関等と連携した防災教育の実施

⇒本年度も秋田県教育委員会が計画する「学校安全外部指導者派遣事業」に協力し、リモート環境での開催を含め実施予定。

### ○発災時の迅速かつ確実な避難に関する取組

- ・気象情報発信時の「危険度の色分け」や「警報級の現象」等の改善（水害時の情報入手のし易さをサポート）

⇒本年度も防災気象情報は機会あるごとに解説を行い利活用促進に努める。また、大雨・洪水の注意報、警報の発表基準がより適切な判定結果となるように最新の災害データを基に見直しを行う。

## ■ソフト対策【ねばる】

②氾濫被害の防止や軽減、  
避難時間の確保のための情報共有と水防活動の強化

### ○より効果的な水防活動の実施及び水防体制の強化に関する取組

- ・流域内の関係機関が防災情報を共有できる体制の整備

⇒県内各市町村を訪問し防災担当者と情報交換を行うと共に、災害発生時は、後日防災担当者との対応についての振り返りを行う。

## ■ソフト対策【動かす】

①逃げ遅れゼロに向けた  
迅速な情報発信と避難の誘導

### ○発災時の迅速かつ確実な避難に関する取組

- ・想定最大規模の洪水での避難計画を考慮したハザードマップの作成・周知及びまるとまちごとハザードマップの推進
- ⇒2019年台風19号による長野新幹線の浸水を受けて、最新のハザードマップを基に、関係する現業機関において避難マニュアルを作成
- ⇒想定最大規模の洪水を考慮したハザードマップを基に、浸水が予想される車両を安全な場所へ疎開させるマニュアルを作成、机上訓練を実施

## ■ソフト対策【ねばる】

②氾濫被害の防止や軽減、  
避難時間の確保のための情報共有と水防活動の強化

### ○より効果的な水防活動の実施及び水防体制の強化に関する取組

- ・流域内の関係機関が防災情報を共有できる体制の整備
- ⇒秋田県及び青森県の総合防災課とのホットラインを構築した。

## ■ソフト対策【動かす】<sup>①逃げ遅れゼロに向けた 迅速な情報発信と避難の誘導</sup>

### ○発災時の迅速かつ確実な避難に関する取組

- ・想定最大規模の洪水での避難計画を考慮したハザードマップの作成・周知及びまるとまちごとハザードマップの推進
- ⇒最新のハザードマップを年に1回確認し、それを基に、関係する現業機関において避難マニュアルの見直し、修正を図る。
- ⇒想定最大規模の洪水を考慮したハザードマップを年に1回確認しマニュアルの見直し修正を図る。また、浸水が予想される車両を安全な場所へ疎開させる実車訓練を行う。(車両疎開訓練)

## ■ソフト対策【ねばる】

②氾濫被害の防止や軽減、  
避難時間の確保のための情報共有と水防活動の強化

### ○既存ダムを最大限活用した防災体制の強化に関する取組

- ・既存ダムが柔軟な対応ができるように、予測も含めたより広域的な下流域の情報を共有できる体制を整備  
⇒**プッシュ型洪水予報等の情報を活用するシステム構築に参加し、事前放流の体制作りを行った。**

## ■ソフト対策【ねばる】

②氾濫被害の防止や軽減、  
避難時間の確保のための情報共有と水防活動の強化

### ○既存ダムを最大限活用した防災体制の強化に関する取組

- ・既存ダムが柔軟な対応ができるように、予測も含めたより広域的な下流域の情報を共有できる体制を整備  
⇒**プッシュ型洪水予報等の情報を活用するシステム構築に参加し、事前放流の体制作りを行う。**

## ■ハード対策

- 洪水氾濫を未然に防ぐ対策
- 避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備

### ○堤防整備

⇒ 秋田市新波地区、秋田市左手子地区、秋田市戸草沢地区、秋田市銅屋地区、大仙市福部羅地区、大仙市強首地区、大仙市寺館大巻地区、大仙市岩瀬湯野沢地区、大仙市中村芦沢地区【継続】

### ○河道掘削

⇒ 秋田市小山地区、秋田市左手子地区、大仙市大仙地区、湯沢市酒時地区【継続】

### ○ダム建設の推進

⇒ 成瀬ダム【継続】

### ○簡易水位計等の基盤整備

⇒ 洪水に対するリスクが高い区間に簡易型河川監視カメラ設置（全41基）

## ■ソフト対策【動かす】

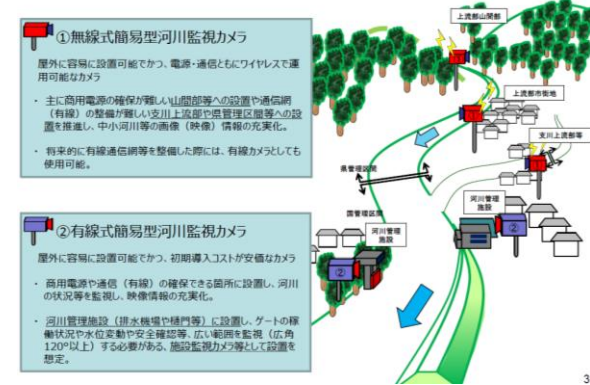
①逃げ遅れゼロに向けた迅速な情報発信と避難の誘導

### ○平時からのリスク情報の周知と防災教育・訓練等に関する取組

- ・タイムラインを活用したロールプレイング等のリアリティのある防災訓練の実施  
⇒ ロールプレイング形式の危機管理演習シナリオ作成、次年度開催予定【継続】
- ・水害リスクを共有するための教育機関等と連携した防災教育の実施  
⇒ 流域市町村全校において、防災教育資料を展開（関係機関共同実施）【継続】

### ○発災時の迅速かつ確実な避難に関する取組

- ・住民の避難行動に着目した各市町のタイムラインの運用  
⇒ 平成29年7月・8月洪水、H30.5洪水及び危機管理演習結果等を踏まえたタイムラインの検証・見直し（関係機関共同実施）【継続】



簡易型河川監視カメライメージ



流域内小学校へ配布した改良版防災教育資料

災害情報	雄物川水位	秋田河川浸水警報	救助要請	住民等
<p>雄物川水位</p> <p>雄物川水位計</p> <p>雄物川水位計</p> <p>雄物川水位計</p>	<p>秋田河川浸水警報</p> <p>秋田河川浸水警報</p> <p>秋田河川浸水警報</p> <p>秋田河川浸水警報</p>	<p>救助要請</p> <p>救助要請</p> <p>救助要請</p> <p>救助要請</p>	<p>住民等</p> <p>住民等</p> <p>住民等</p> <p>住民等</p>	

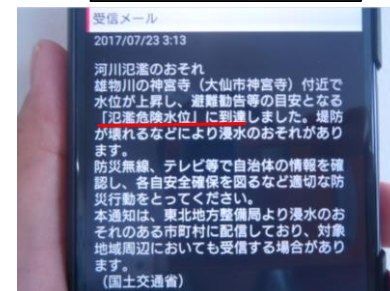
タイムラインの見直しイメージ

## ■ソフト対策【動かす】 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速な情報発信と避難の誘導

### ○発災時の迅速かつ確実な避難に関する取組

- ・想定最大規模降雨による浸水想定区域図、氾濫シミュレーション、家屋倒壊等氾濫想定区域の公表  
⇒ハザードマップ作成に必要な電子データを提供支援【継続】
- ・住民の主体的避難を促す情報伝達手段の拡充（防災メール、防災ラジオ、SNS等）  
⇒プッシュ型メールによる住民への情報提供及び周知広報を実施【継続】  
⇒河川監視カメラの運用開始（全41基）【新規】

（第1報）氾濫危険水位到達



H29.7配信されたプッシュ型メール（大仙市神宮寺地区）

## ■ソフト対策【ねばる】 ②氾濫被害の防止や軽減、避難時間の確保のための情報共有と水防活動の強化

### ○より効果的な水防活動の実施及び水防体制の強化に関する取組

- ・流域内の関係機関が防災情報を共有できる体制の整備  
⇒秋田県 情報集約配信システムによる情報共有【継続】
- ・重要水防箇所の合同巡視  
⇒関係機関（水防団、各市町、秋田県、東北地方整備局）合同による重要水防箇所点検【継続】
- ・関係機関が連携した水防訓練・水防団同士の連絡体制の再確認の実施

### ○既存ダムを最大限活用した防災体制の強化に関する取組

- ・既存ダムが柔軟な対応ができるように、予測も含めたより広域的な下流域の情報を共有できる体制を整備。  
⇒ダム事前放流実施要領策定



河川監視カメラの表示イメージ



R元重要水防箇所の合同点検（秋田市）



## ■ソフト対策【戻す】

③日常生活および社会経済活動の一刻も早い回復を可能とする排水活動

### ○排水活動及び訓練、施設運用に関する取組

- ・ 関係機関と連携したリアリティのある水防・排水訓練の実施  
 ⇒ 排水ポンプ車操作訓練を6月11日実施【秋田河国】
- ・ 排水施設等の情報共有、浸水区域内の自然勾配を踏まえた排水の検討を行い、大規模水害を想定した氾濫時の緊急排水計画（案）を作成  
 ⇒ 長期にわたり浸水が継続する地域において、地域社会をいち早く復旧させるための排水計画（案）を作成【継続】



緊急排水計画(案)のイメージ

## ■ハード対策

- 洪水氾濫を未然に防ぐ対策
- 避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備

### ○堤防整備

⇒ 秋田市新波地区、秋田市左手子地区、秋田市戸草沢地区、秋田市銅屋地区、大仙市福部羅地区、大仙市強首地区、大仙市寺館大巻地区、大仙市岩瀬湯野沢地区、大仙市中村芦沢地区【継続】

### ○河道掘削

⇒ 秋田市黒瀬地区、大仙市大仙地区【継続】

### ○ダム建設の推進

⇒ 成瀬ダム【継続】

### ○簡易水位計等の基盤整備

⇒ 洪水に対してのリスクが高い区間に簡易型河川監視カメラ（全41基）【継続】



簡易型河川監視カメラ設置状況

## ■ソフト対策【動かす】

①逃げ遅れゼロに向けた迅速な情報発信と避難の誘導

### ○平時からのリスク情報の周知と防災教育・訓練等に関する取組

- ・タイムラインを活用したロールプレイング等のリアリティのある防災訓練の実施
  - ⇒ ロールプレイング形式の**危機管理演習を開催予定（関係機関）**【継続】
- ・水害リスクを共有するための教育機関等と連携した防災教育の実施
  - ⇒ **流域市町村全校において、防災教育資料を展開**（関係機関共同実施）【継続】

### ○発災時の迅速かつ確実な避難に関する取組

- ・住民の避難行動に着目した各市町のタイムラインの運用
  - ⇒ 平成29年7月・8月洪水、H30.5洪水及び**危機管理演習結果等**を踏まえたタイムラインの**検証・見直し**（関係機関共同実施）【継続】



R元危機管理演習実施状況（左：大仙市、右：湯沢河川国道）

タイムラインの見直しイメージ

## ■ソフト対策【動かす】 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速な情報発信と避難の誘導

### ○発災時の迅速かつ確実な避難に関する取組

- ・想定最大規模降雨による浸水想定区域図、氾濫シミュレーション、家屋倒壊等氾濫想定区域の公表  
⇒ハザードマップ作成に必要な電子データを提供支援【継続】
- ・住民の主体的避難を促す情報伝達手段の拡充（防災メール、防災ラジオ、SNS等）  
⇒プッシュ型メールによる住民への情報提供及び周知広報を実施【継続】  
⇒河川監視カメラの運用（全41基）【継続】



河川監視カメラの表示イメージ  
(左:PC画面、右:スマートフォン)

## ■ソフト対策【ねばる】 ②氾濫被害の防止や軽減、避難時間の確保のための情報共有と水防活動の強化

### ○より効果的な水防活動の実施及び水防体制の強化に関する取組

- ・流域内の関係機関が防災情報を共有できる体制の整備  
⇒秋田県 情報集約配信システムによる情報共有【継続】
- ・重要水防箇所の合同巡視  
⇒関係機関（水防団、各市町、秋田県、東北地方整備局）合同による重要水防箇所点検【継続】
- ・関係機関が連携した水防訓練・水防団同士の連絡体制の再確認の実施



R元重要水防箇所の合同点検(秋田市)

### ○既存ダムを最大限活用した防災体制の強化に関する取組

- ・既存ダムが柔軟な対応ができるように、予測も含めたより広域的な下流域の情報を共有できる体制を整備。  
⇒ダム事前放流実施要領【継続】  
⇒玉川ダム・鎧畑ダム連携協定の締結（R3.6.8締結）

洪水時及び平常時における、より効率的な情報提供や住民周知  
治水・利水の一体的かつ総合的なダム運用  
玉川ダム・鎧畑ダム連携強化推進室の設置



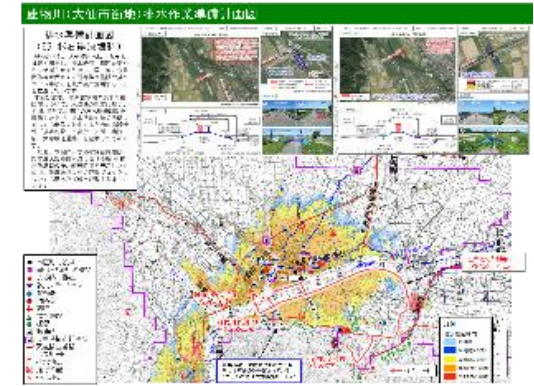
玉川ダム・鎧畑ダム連携協定 締結式

## ■ソフト対策【戻す】

③日常生活および社会経済活動の一刻も早い回復を  
可能とする排水活動

## ○排水活動及び訓練、施設運用に関する取組

- ・関係機関と連携したリアリティのある水防・排水訓練の実施  
⇒排水ポンプ車操作訓練の実施【継続】
- ・排水施設等の情報共有、浸水区域内の自然勾配を踏まえた排水の検討を行い、大規模水害を想定した  
氾濫時の緊急排水計画(案)を作成  
⇒長期にわたり浸水が継続する地域において、地域社会をいち早く復旧させるための排水計画  
(案)を作成【継続】



緊急排水計画(案)のイメージ